

# 2014年度 決算説明会

2015年5月18日  
タツタ電線株式会社

**本資料における将来の予測等に関する各記述は当社が現時点で入手可能な情報に基づく判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。  
したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。**

本資料に関するお問い合わせ先  
**タツタ電線株式会社**  
総務部 経理・財務担当  
TEL:06-6721-3011 FAX:06-6726-2300  
<http://www.tatsuta.co.jp/>

- 1. 基本方針**
- 2. 2014年度決算概要**
- 3. 2015-2017年度見通し**
- 4. 今後の経営戦略**

# 基本方針

# 2014年度振り返り

**売上高: 550億円 (前年度比 7.5%増) 過去最高額**  
**営業利益: 53億円 (前年度比 14.7%増)**  
**当期純利益: 33億円 (前年度比 0.5%増) 過去最高額**

## 増収の主な要因



- シールドフィルムの販売が世界需要と共に堅調に推移
- 立井電線(株)子会社化に伴う売上増
- 医療機器向け光部品の販売伸長

## 営業増益の主な要因



- シールドフィルムの増収に伴う増益
- 建設電販向け電線の販売増

# 基本方針

## 中長期的な経営基盤の安定強化・発展

### 「コア事業からの収益確保」

#### 「安定事業領域」



#### 通信電線ケーブル

国内インフラ向け電線ケーブル

#### 「当面の最大収益源」



#### 電子材料

機能性材料、FW

### 「周辺分野および新規分野での各種事業開発」

機器用電線

医療分野  
(部品、機器製品)

電子材料周辺  
新規分野

# 基本方針に基づく取り組み(1)

## 安定経営：多軸経営・複線化運営

### 「安定事業領域」

#### 通信電線ケーブル

- 複線化(電力、建設電販、産業用電線)体制の充実、販路拡大
- オリジナル商品開発
- コストダウン策推進継続



### 「当面の最大収益源」

#### 電子材料

- フィルムの世界シェア維持
- 事業運営体制の整備
- ペースト、FW事業の拡大

#### 電子材料周辺 新規分野

- 製品開発および早期の市場投入
- 事業提携を視野に入れた事業拡大早期化
- 海外拠点を活用したグローバル化

### 「拡大事業領域」

#### 機器用電線

- 国内事業収益力の底上げ
- 海外販売の本格展開

#### 医療分野 (部品、機器製品)

# 基本方針に基づく取り組み(2)

## 財務体質の充実と積極投資(過去5年間の例)

### 事業所の増加

- 木津川新拠点
- 中国 常州に新会社設立
- マレーシアに新会社設立
- 立井電線株式取得  
(兵庫工場)
- その他



### 増強・効率化

- 京都工場  
第一工場(能力倍増)  
第二、第三工場建設
- 大阪工場  
京都工場設備の集約
- 中国常州  
機器用電線設備の増強
- 木津川  
FW工場建設・移設

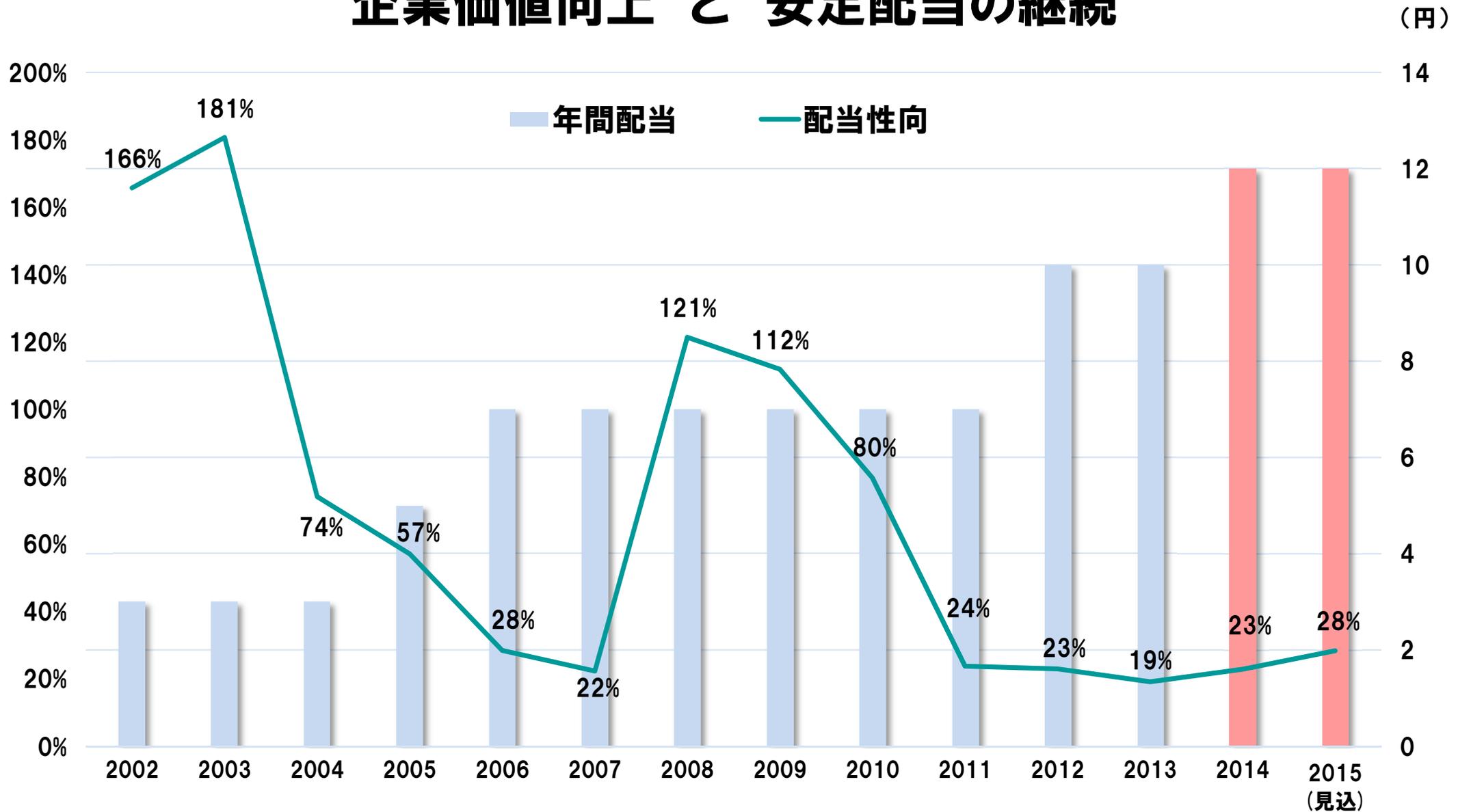
### 技術開発強化

- テクニカルセンター建設
- 医療関係事業その他



# 基本方針に基づく取り組み(3)

## 企業価値向上 と 安定配当の継続



# 2014年度決算概要

# 2014年度実績

(単位:百万円)

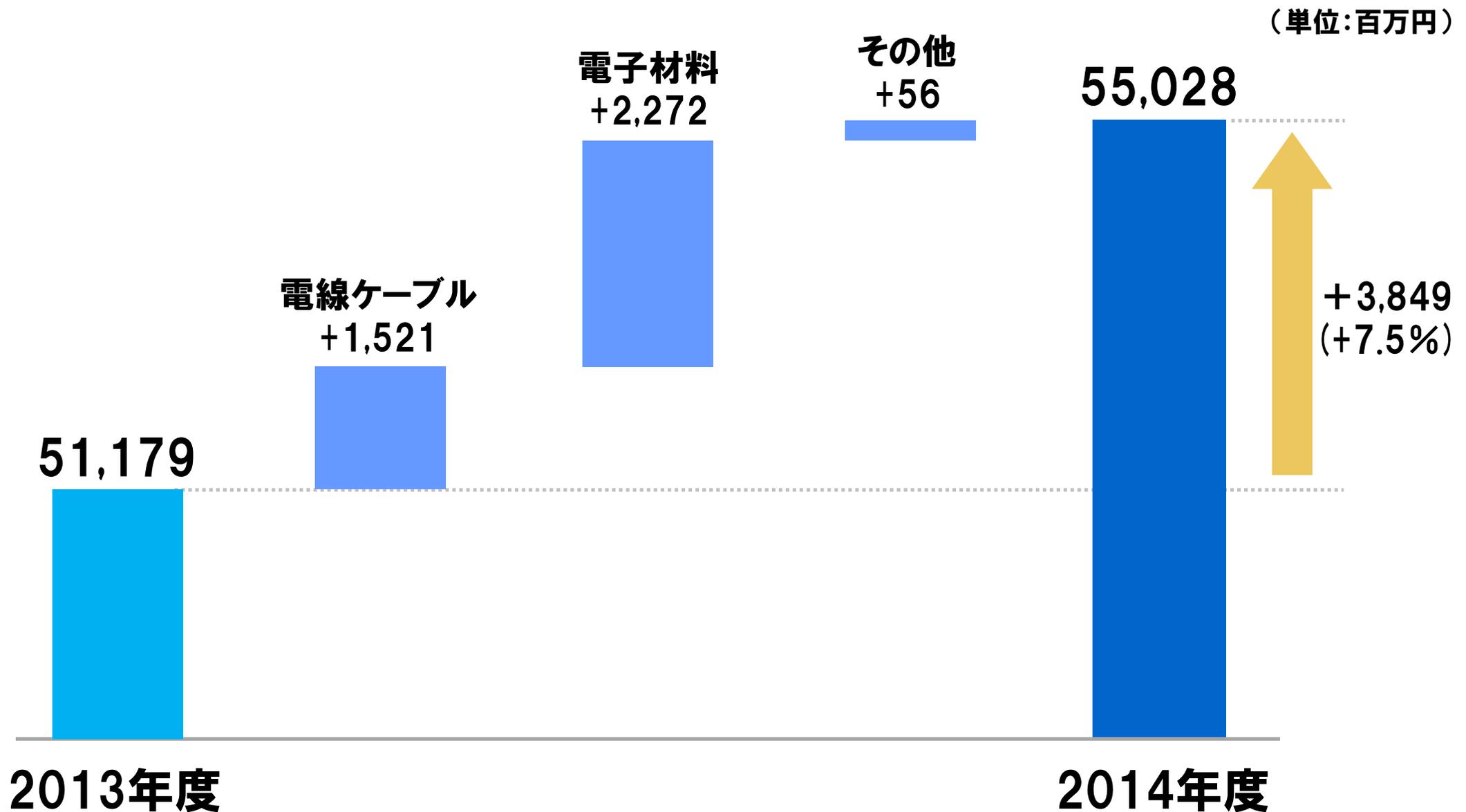
	2013年度	2014年度	増減	備考
売上高	51,179	55,028	3,849	P12参照
営業利益	4,685	5,374	689	P13参照
経常利益	4,847	5,462	615	
特別損益	157	△ 160	△ 317	常州タツタ減損等
当期純利益	3,331	3,349	18	
(1株当り)	(52.2円)	(52.5円)	0.3円	
年間配当予定	10円	12円	2円	2円の増配を予定

# セグメント別 売上高および営業利益

(単位:百万円)

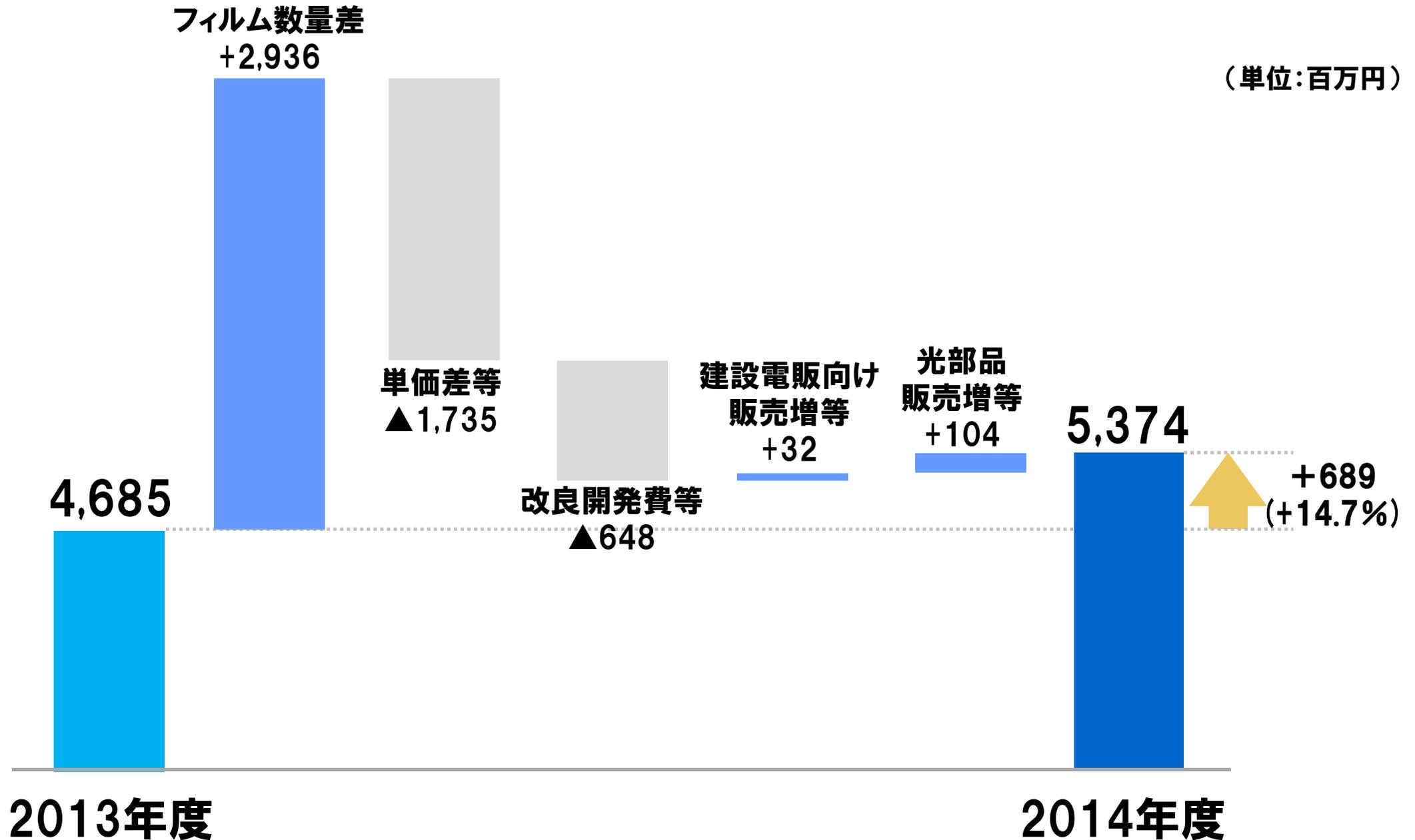
	2013年度		2014年度		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
電線ケーブル	29,533	57.7	31,054	56.4	1,521	5.2
電子材料	20,256	39.6	22,528	40.9	2,272	11.2
その他	1,390	2.7	1,446	2.6	56	4.0
<b>売上高</b>	<b>51,179</b>	<b>100.0</b>	<b>55,028</b>	<b>100.0</b>	<b>3,849</b>	<b>7.5</b>
電線ケーブル	492	10.5	524	9.8	32	6.5
電子材料	4,699	100.3	5,336	99.3	637	13.6
その他	△ 506	△ 10.8	△ 486	△ 9.0	20	△ 4.0
<b>営業利益</b>	<b>4,685</b>	<b>100.0</b>	<b>5,374</b>	<b>100.0</b>	<b>689</b>	<b>14.7</b>

# 売上高の増減要因



# 営業利益の増減要因

(単位:百万円)



# 2015-2017年度見通し

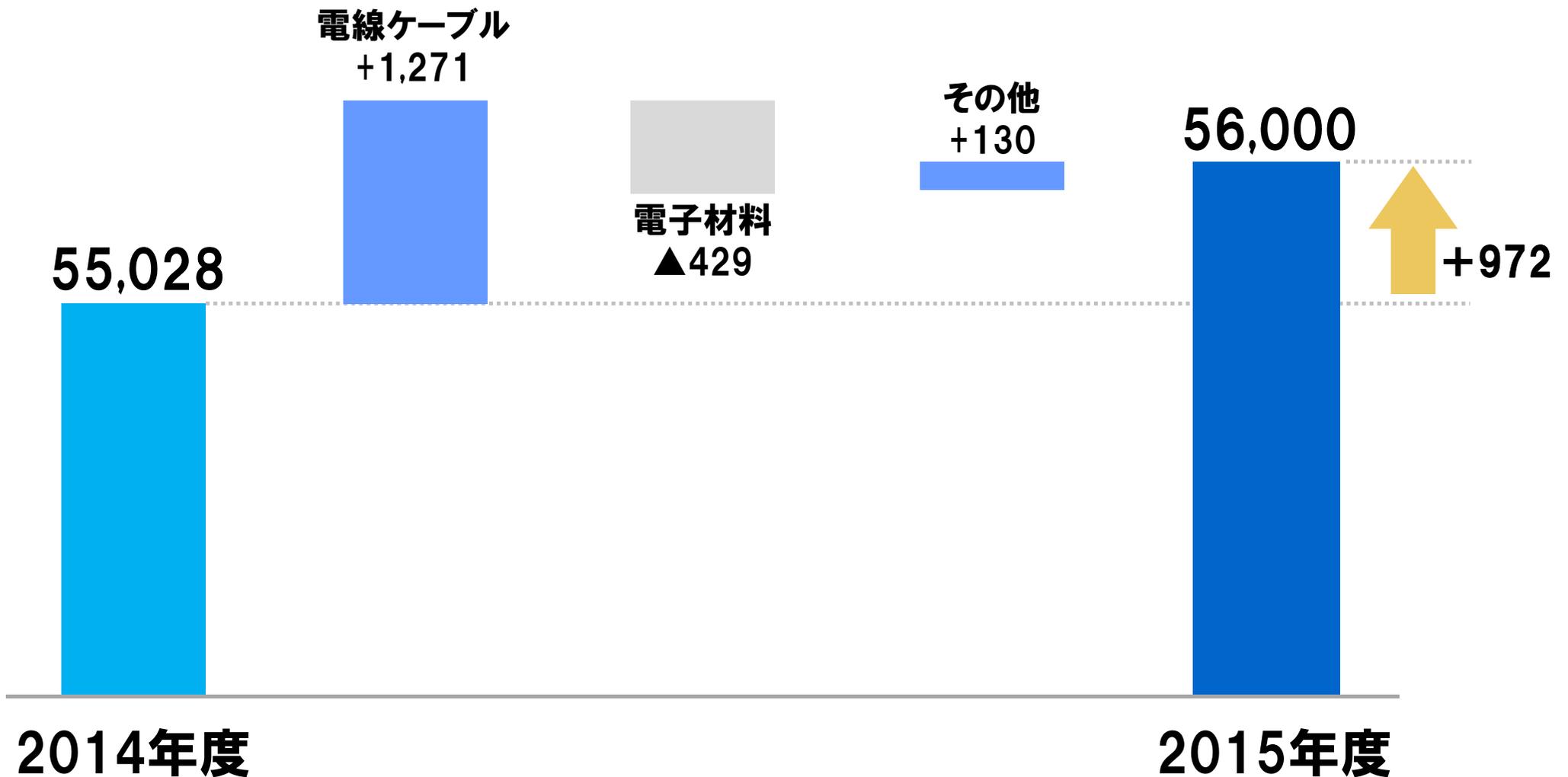
# 2015年度収支予想

(単位:百万円)

	2014年度	2015年度	増減	備考
売上高	55,028	56,000	972	機器用電線増販等
営業利益	5,374	4,100	△ 1,274	フィルム価格低下影響先行
経常利益	5,462	4,200	△ 1,262	
特別損益	△ 160	△ 20	140	
当期純利益	3,349	2,700	△ 649	
(1株当り)	(52.5円)	(42.3円)	△ 10.2円	
年間配当予定	12円	12円	0	継続

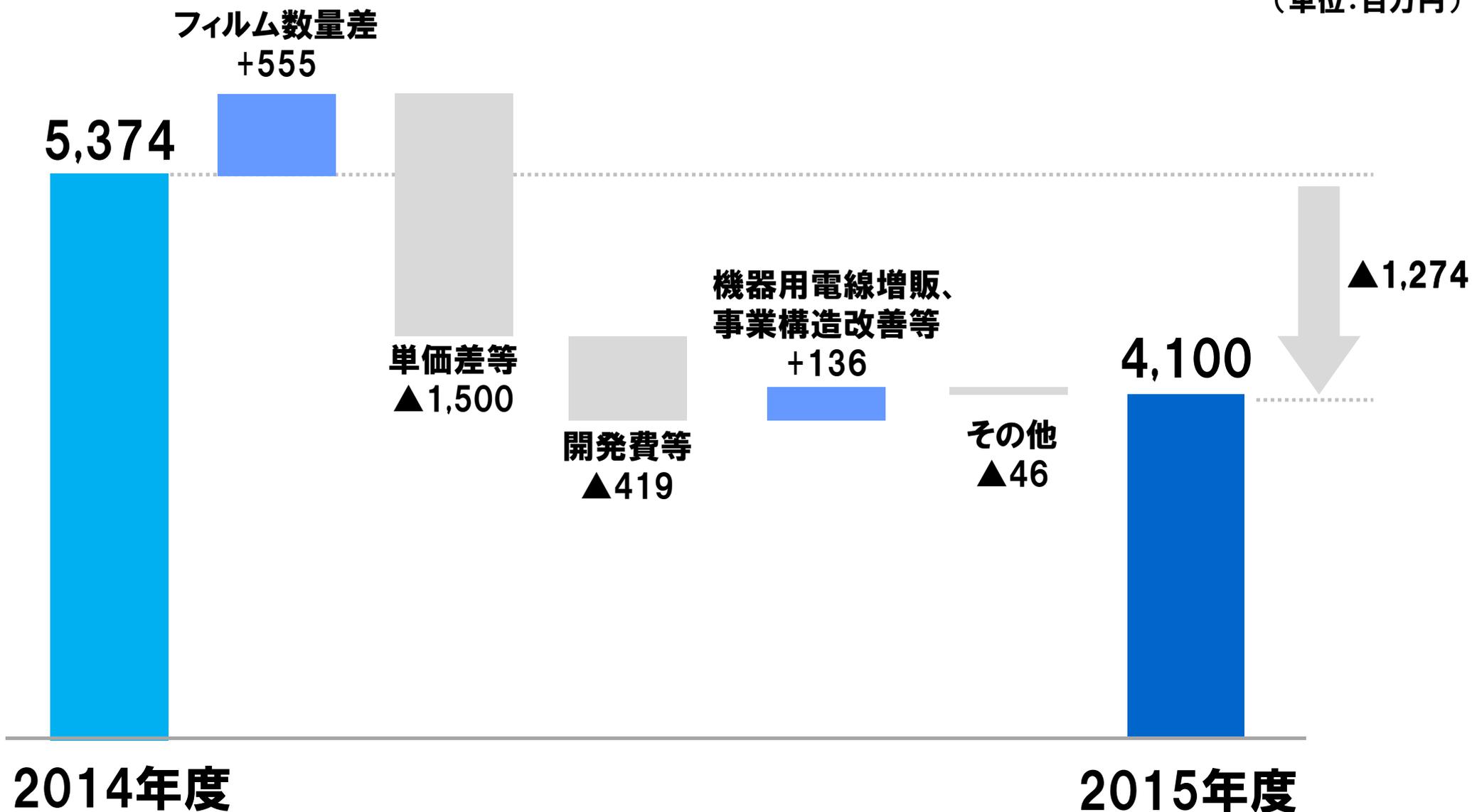
# 売上高の増減要因(予想)

(単位:百万円)



# 営業利益の増減要因(予想)

(単位:百万円)



# 中期収支の見通し

(単位:百万円)

	2014実績	2015予想	2016見通	2017見通
売上高	55,028	56,000	57,500	59,000
(営業利益率)	(9.8%)	(7.3%)	(7.1%)	(8.5%)
営業利益	5,374	4,100	4,100	5,000
経常利益	5,462	4,200	4,200	5,000
当期純利益	3,349	2,700	2,900	3,500
(ROE)	(10.1%)	(7.7%)	(8.2%)	(9.5%)

# セグメント別中期収支

(単位:百万円)

		2014実績	2015予想	2016見通	2017見通
	電線ケーブル	31,054	32,300	34,550	35,300
	電子材料	22,528	22,100	21,000	21,400
	その他	1,446	1,600	1,950	2,300
<b>売上高</b>		<b>55,028</b>	<b>56,000</b>	<b>57,500</b>	<b>59,000</b>
	電線ケーブル	524	660	1,010	1,270
	電子材料	5,336	3,730	3,320	3,770
	その他	△ 486	△ 290	△ 230	△ 40
<b>営業利益</b>		<b>5,374</b>	<b>4,100</b>	<b>4,100</b>	<b>5,000</b>

# 貸借対照表

(単位:百万円)

	2014実績	2015予想	2016見通	2017見通
流動資産	32,403	31,650	31,746	34,417
固定資産	12,270	14,614	15,348	15,867
資産計	44,673	46,264	47,094	50,284
流動負債	7,638	9,261	10,214	10,608
固定負債	2,239	1,413	1,435	1,455
負債計	9,878	10,674	11,649	12,063
純資産計	34,795	35,590	35,445	38,222
内)運用資金	8,173	8,079	7,895	9,375
内)有利子負債	1,296	1,060	50	50
自己資本比率	77.9%	76.9%	75.3%	76.0%

# キャッシュフロー、設備投資

(単位:百万円)

	2014実績	2015予想	2016見通	2017見通
営業CF	5,452	3,730	4,462	5,052
投資CF	△ 256	△ 3,857	△ 2,952	△ 2,735
設備投資	△ 1,252	△ 3,879	△ 2,944	△ 2,727
その他	996	22	△ 8	△ 8
財務CF	△ 2,825	△ 1,066	△ 1,776	△ 766
CF合計	+ 2,371	△ 1,193	△ 266	+ 1,551
(減価償却)	(1,279)	(1,713)	(1,965)	(1,984)

(2015-2017年度の主な設備投資項目)

- フィルム生産体制強化、市場対応:25億円
- 各種事業、技術開発投資:12億円
- 電線製造設備効率化等:10億円
- 建屋耐震対応:13億円

# 今後の経営戦略

# コア事業からの収益確保 ～通信電線～

## 基本方針

- 将来の景気変動に耐えうる収支構造の強化
- 電力・建設電販分野の収益安定化と直需分野開拓による利益拡大

## 施策

1. 複線化(電力、建設電販、産業用電線)体制の充実、販路拡大
2. 産業用電線オリジナル商品開発
3. コストダウン策推進



# コア事業からの収益確保 ～通信電線～

## 「通信電線」の取り組み



### オリジナル 商品開発

- 応用製品、改良製品の市場投入
- 住電日立ケーブルとの協業
- 産業機器関連の開発商品の推進

### 複線化体制の 充実、 販路拡大

- 発電所(火力、原子力)向けケーブル受注
- 主要電力向け配電線の安定受注
- 配電網更新需要への対応

### コストダウン策 推進

- 原料費、材料費、労務費、物流費の  
コストダウン

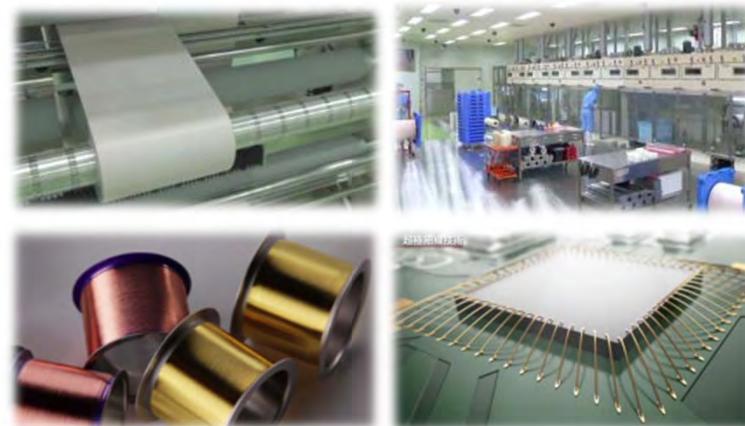
# コア事業からの収益確保 ～電子材料～

## 基本方針

- フィルムからの収益性確保
- 周辺分野及び新規分野での各種事業開発

## 施策

1. フィルムの世界シェア維持
2. 事業運営体制の整備
3. ファインワイヤ事業の拡大



# コア事業からの収益確保 ～電子材料～

## 「機能性フィルム」の取り組み

顧客ニーズに対応  
した製品投入

- 高機能差別化製品
- 加工性向上製品
- 競合対抗製品

技術・製品開発

市場シェア維持

新規市場への  
展開

フィルム収益性維持

顧客対応力強化

- 技術サポート強化
- 海外マーケティング拠点整備
- 安定・効率生産体制整備

徹底した  
CR

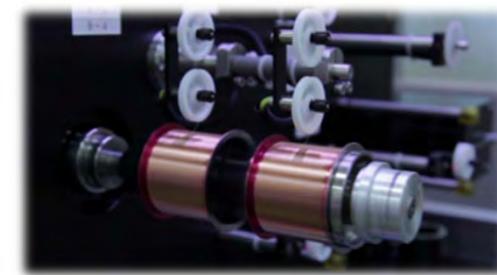
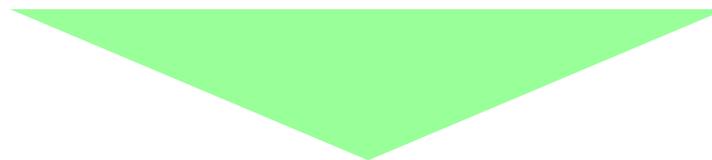
「電子材料周辺・新規分野」の取り組み

メタライズペースト  
事業化

ファインワイヤ  
事業拡大

金属薄膜形成  
技術による  
新規事業化

その他  
新規メタル  
加工技術



高機能メタル分野での事業化

## 「医療機器分野での新規事業化」の取り組み

### 電線・電子材料事業で培った タツタの要素技術

- ペースト技術
- フィルム化技術
- ボンディング加工技術
- センサー技術
- システム化技術
- 光制御技術



### 外部

- 技術
- ノウハウ
- ネットワーク

顧客ニーズに対応する新規製品・システム開発

医療機器分野での製品展開

# 周辺分野および新規分野での各種事業開発 ～機器用電線～

## 基本方針

- 可動部仕様の電源系・制御系の総合的製品提供
- 端末加工を施し部品としての製品展開
- カスタマー指向での生産、製品開発体制の強化



## 施策

### <国内>

1. 立井電線との事業シナジー効果
2. 生産・製品開発体制の強化

### <海外>

1. 現地生産体制の構築
2. 販売ネットワークの構築
3. 海外拠点設置の検討



## 「機器用電線」の取り組み

### 国内

#### シナジー効果追及

- 安定生産(圧倒的生産能力)  
コスト、納期、少量生産優位性
- 顧客資産の共通活用  
販売営業の統一

#### 生産・製品開発体制の強化

- 素材開発の強化
- 短尺品・部品化生産体制の強化

### 海外

#### 現地生産体制の構築

- 国内の技術支援、材料供給機能の強化を受け、電源系、制御系の総合的製品

#### 販売ネットワークの構築

- タツタグループの海外販売ネットワークのフル活用

#### 海外拠点増設の検討

- 機器用電線事業の海外拠点として「中国国内」「東南アジア」の拠点増設の検討

# 参考資料

# タツタグループについて

## タツタ電線株式会社



通信電線事業

機器用電線事業

機能性材料事業

ファインワイヤ事業

システム・フォト事業

中国電線工業(株)

(75%)

立井電線(株)

(常州タツタ)

常州拓自达恰依納電線  
有限公司

(TEMM)

TATSUTA ELECTRONIC  
MATERIALS MALAYSIA SDN. BHD.

タツタ環境分析センター(株)

\*セグメント区分

電線ケーブル

電子材料

その他

# 新製品例 ～通信電線～

最高許容温度115℃  
電気機器用特殊耐熱ビニル電線  
ネツタフ115(KIV)®



- 最高許容温度115℃
- サイズダウン可能
- 直流750V対応
- ROHS指令対応

平型高周波誘導加熱用リード線  
TLFQ



- 平型形状で可とう性良好
- 低インピーダンス
- 端子付で提供

# 開発製品例 ～医療機器分野～

## 透析用抜針漏血検知機

### 見針絆 - 透析抜針・漏血検知器



NIPRO



TATSUTA

### 見針絆の構成

TATSUTA



NIPRO



TATSUTA

メ ㇀